

平成28年度(2016)

公益財団法人 出雲市芸術文化振興財団

事業計画

目 次

平成 28 年度 (2016) 事業計画	1
I 公益目的事業	2
1. 芸術文化事業	2
(1) 出雲総合芸術文化祭事業	2
(2) 出雲芸術アカデミー事業	3
(3) 出雲メセナ協会事務局に関する事務	5
2. 展示事業	5
(1) 展覧会事業	5
①出雲文化伝承館 ②平田本陣記念館	
(2) 郷土資料調査活用事業	7
(3) 出雲和文化交流会事業	7
(4) 呈茶事業	7
(5) 文化財保存公開事業	8
3. 貸館事業	8
(1) 出雲市民会館	8
(2) ビッグハート出雲	8
(3) 平田文化館	9
(4) 大社文化プレイスうらら館	9
(5) 出雲文化伝承館	9
(6) 平田本陣記念館	10
(7) 管理施設の概要	10
II 収益事業	12
1. 貸館事業	12
(1) 出雲市民会館	12
(2) ビッグハート出雲	12
(3) 平田文化館	12
(4) 大社文化プレイスうらら館	12
(5) 出雲文化伝承館	12
(6) 平田本陣記念館	12
2. チケット販売等物販事業	12
3. 大社図書館管理運営事業	13

平成28年度(2016)事業計画

公益財団法人出雲市芸術文化振興財団は、平成28年度、新法人移行後4年目を迎え、芸術文化事業、展示事業、指定管理施設6施設の貸館・管理事業の公益事業を中心に、出雲市における芸術文化の振興の中核となる公益法人として、その役割を果たしてまいります。

まず、芸術文化事業は、「音楽のまち 出雲」の実現を目指しながら、平成27年度から3年間の継続採択を受けている文化庁の「劇場・音楽堂等活性化事業」に係る支援を活用し、

- ・オーケストラと日本舞踊の融合第3弾と連作交響神楽の初演を柱に、独創的な出雲アートシーンを創出する「出雲の春音楽祭2017」

鑑賞事業では、

- ・家入レオコンサート

など、若年層向けの新たな試みも取り入れるほか、次世代鑑賞者の育成や古典芸能の継承発展を目的とした事業等多様な事業に取り組みます。

出雲芸術アカデミーの講座運営につきましては、公益性のバランスに留意しながら適正な受益者負担に見直し、新受講料による平成27年度講座生徒の募集を行ったところですが、28年度募集にあたっては、受講者の拡大に一層努めます。

また、展示事業では、出雲文化伝承館と平田本陣記念館両館合わせて11回の展覧会を開催し、伝承館では、明治期の華やかな輸出陶磁器として国内外で人気のある「ノリタケ110年のあゆみ展」や、本陣記念館では、絵本作家として著名な「池田あきこ原画展」など幅広い分野の優品を紹介します。

さらに、和文化交流会事業、各教室、講座など、多くの事業を実施しながら出雲地方の文化の伝承に取り組みます。

次に、貸館事業については、平成28年度から平成32年度までの5年間あらためてホール系4施設及び展示系2施設について、市から指定管理者の指定を受けたところであり、各館の特色を十分に把握し、館の連携と総合力で利用者の要望に的確にお応えし、適切な管理運営を行います。

他方、芸術文化事業（総合芸術文化祭）及び展示事業などソフト事業については、平成28年度から市の施設の指定管理事業ではなく市の単年度毎の負担金事業となり、今後、専門性を高めるとともに、スクラップアンドビルドなどにより真に必要な事業を見

極め、安定した事業運営と責任ある経営を目指します。

I 公益目的事業

1. 芸術文化事業

当財団は、公益目的事業の中心となる芸術文化事業につきまして、地域の芸術文化活動を積極的に推進し、市民への鑑賞の機会、参加の機会、実践の機会を提供し、出雲市における芸術文化の振興の中核としての役割を果たしてまいります。

平成28年度においては、引き続き文化庁の劇場・音楽堂等活性化事業を活用し、出雲フィルハーモニー交響楽団定期演奏会の充実、出雲の春音楽祭におけるオーケストラと日本舞踊の融合や委嘱作品「連作交響神楽」に取り組むとともに、出雲芸術アカデミーによる人材育成事業や出前講座(アウトリーチ活動)による普及啓発事業に重点的に取り組めます。

(1) 出雲総合芸術文化祭事業

「本物志向」の観点から優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供する鑑賞事業については、子どもたちの豊かな感性と創造性を育み、鑑賞能力の向上を目指した次世代鑑賞者育成事業、歌舞伎などの日本の古典芸能を守り伝えていく古典芸能事業、市民に広く舞台芸術の素晴らしさを感じてもらう一般事業に分類し、それぞれの分野において積極的に取り組んでまいります。

一般事業においては、中高生、大学生などの若年層向けの事業が近年開催されていないことから、若者に高い支持を得ている家入レオコンサートを企画しました。次代を担う若者たちの出雲総合芸術文化祭事業に参加を促し、地域の活性化を図るまたとない機会と期待しています。

また、「住民参加」をテーマに地元の住民で構成される実行委員会が中心となって取り組んでいる自主事業については、継続的な取組の蓄積により事業効果が現れてくるものと考えています。

特に「出雲の春音楽祭」では、文化庁の助成を受けて取り組んできた日本舞踊とオーケストラの融合が最終章に向かうとともに、同音楽祭でのオーケストラの役割に新たな使命を与える交響詩「連作交響神楽」の第1弾をスタートさせる予定です。

このように、芸術文化の振興にあたっては、事業の継続性を重視しつつ、運営形態の見直しなど創意工夫により改善に努めるとともに、情報発信の強化による新たな事業展開についても検討してまいります。

平成 28 年度(2016)第 22 回出雲総合芸術文化祭実施計画			
	開催月日(予定)	事業区分	公演等事業名
1)	7月3日(日)	鑑賞事業	人形劇団プーク「ピンクのドラゴン」
2)	7月24日(日)	自主事業	将棋フェスティバル
3)	8月6日(土)	自主事業	出雲囲碁フェスティバル
4)	8月28日(日)	共催事業	サウンドフェスタ大心路
5)	10月16日(日)	鑑賞事業	第27回出雲阿国歌舞伎「松竹大歌舞伎」
6)	10月22日(土)	鑑賞事業	「家入レオ」コンサート
7)	調整中	共催事業	出雲神在月芸術文化の祭典
8)	11月26、27日(土、日)	自主事業	いずも音楽コンクール
9)	1月8日(日)	自主事業	いずも新春コンサート
10)	3月20日(月・祝)	自主事業	出雲の春音楽祭 2017
11)	調整中	自主事業	アートマネジメント事業
12)	調整中	展示事業	公募展優秀作品展
13)	調整中	展示事業	工芸展

(2) 出雲芸術アカデミー事業

出雲芸術アカデミーは平成17年10月に開設され、子どもの頃から芸術文化に触れ、学ぶことができる機会を提供し、芸術文化を通して創造性に富み感性豊かな青少年の育成を図ること、更に地域の芸術文化を支える指導者の育成及び広く市民の積極的な芸術文化活動への参加を促進することを目的として事業運営に取り組んでいます。

音楽院では幼児から高齢者までを対象に器楽、声楽の講座を継続して実施し、成果発表の場として演奏会を開催します。

また、音楽研究院では講師の技術研鑽に努め、市内小学校や幼稚園・保育園、また福祉施設等へのアウトリーチ活動の更なる充実に取り組み、楽器体験、生演奏の鑑賞機会の提供、演奏指導など音楽の普及啓発、技術の向上に努めます。

平成27年度は、文化庁の劇場・音楽堂等活性化事業を活用し、日本文化の普及と発展を目的に、平成26年度開設した、「ジュニア日本文化講座」の1期生による成果発表の場として出雲伝統芸能プロデュース公演「日本舞踊の魅力×箏曲の魅力」を上演し、そのオープニングを飾りました。引き続き、次世代の子どもたちによる伝統芸能の継承につなげるため、「ジュニア日本文化講座」の受講生の募集に力を入れ、

人材養成に努めます。

演奏会では、「出雲フィルハーモニー交響楽団」第20回記念定期演奏会として、外国人アーティストを招へいし、ベートーヴェン作曲のピアノ協奏曲「皇帝」を披露します。また、地方では鑑賞・演奏機会の少ない作品であるフランスの作曲家ベルリオーズの代表作「幻想交響曲」に挑み、記念イヤーにふさわしいプログラムを提供することとしています。

〈講座事業〉

- ・ 幼児科 親子リトミックコース (3歳児、4～5歳児、6歳児) 通年(定員200名)
- ・ 本科 リトミックコース (音楽入門、小学1年生～3年生) 通年(定員25名)
合唱コース (合唱 小学生4年生～高校2年生) 通年(定員40名)
オーケストラコース (入門、オーケストラ 小学生～高校生) 通年(定員125名)
- ・ 別科 コーラス・レパートリー (18歳以上) 通年(定員70名)
オーケストラ・レパートリー (18歳以上) 通年(定員60名)
邦楽合奏 (18歳以上) 通年(定員20名)
- ・ 特別講座 ジュニア日本文化講座 舞踊アンサンブル、箏曲アンサンブル (定員20名)

〈演奏会等事業〉

平成28年度(2016)出雲芸術アカデミー演奏会計画			
	開催月日(予定)	事業区分	公演等事業名
1)	4月24日(日)	自主事業	第11回ファミリーコンサート
2)	7月18日(月・祝) (7月16日(土)～)	自主事業	出雲フィルハーモニー交響楽団第20回定期演奏会 (出雲芸術アカデミー・オーケストラ・セミナー2016夏)
3)	11月13日(日)	自主事業	出雲 Jr. フィル・プロムナードコンサートⅣ
4)	1月29日(日)	自主事業	うたなかまこんさと2017

・アウトリーチ活動

音楽芸術への関心と興味、また知的満足感や情緒の安定をもたらすとともに、アカデミーの広報と裾野の拡大を目指します。

市内の幼稚園、保育園、小学校や病院、福祉施設等30か所程度に出雲芸術アカデミー講師が出向き、演奏や指導を行います。

- ・指導者育成支援事業

音楽研究院にて学術研究、指導者育成、音楽芸術活動支援を行います。

(3) 出雲メセナ協会事務局に関する事務

出雲メセナ協会は、平成10年に出雲市内の企業や個人が出雲地域の芸術文化の普及、向上、発展に寄与することを目的に設立されました。主な活動は、会員の会費を原資とした出雲地域で開催される芸術・文化活動への財政支援などです。

〈組織〉 会員数 231名（平成27年12月31日現在）

役員 会長1名、副会長2名、理事10名、監事2名

〈事業〉 ① 芸術・文化活動財政支援事業（年2回募集）

② 基金事業・・・小中学校等への芸術家派遣事業

③ PR事業・・・メセナだよりの発行（年1回）

④ 共催事業・・・出雲総合芸術文化祭事業と共催

2. 展示事業(出雲文化伝承館・平田本陣記念館)

出雲文化伝承館と平田本陣記念館では、平成27年8月にあらためて策定された「出雲市芸術文化振興指針（第2次）」および国の「文化芸術に関する基本的な方針（第4次方針）」等を踏まえながら、出雲地方やわが国の優れた美術工芸、歴史、民俗等の資料の収集、保管及び展示に関する事業を一体的に実施し、それにより出雲文化の魅力を再認識するとともに郷土に自信と誇りをもつことのできる事業展開に努めます。また和文化まつりなど市民参加型の事業を企画し、郷土で大切にされている伝統文化や芸術文化に触れる機会を提供するほか、子どもや大人対象の教室、講座、講演会等を通して芸術文化の多面的な振興に努めます。あわせて、事業について広くホームページやフェイスブックなどで紹介し、出雲の文化力を広く発信します。また収入増をはかるため、協賛広告を募るなど財源確保に努めます。

(1) 展覧会事業

出雲文化伝承館と平田本陣記念館では出雲地方の豊かな歴史や芸術文化の人的、文化的な資産の活用、継承、発展を目指します。28年度は展示事業として両館で11回の展覧会を開催します。伝承館では明治期の華やかな輸出陶磁器として国内外で人気のある「ノリタケ110年のあゆみ展」、また日展会員賞受賞記念「北本雅己 洋画展」、さらには茶の湯で用いる「茶の器 向付と鉢、出雲の漆芸展」等を企画して、県内外の優品を紹介します。

本陣記念館では、宮沢賢治の世界を版画であらわす「小林敏也^{えほん}画本展」、絵本作家と

して著名な「池田あきこ原画展」、そして郷土出身作家「園山幹生絵画展」などを開催して、子どもから大人まで楽しめる幅広い内容で芸術文化に触れていただきます。また本年度も展覧会にあわせ講演会やワークショップなどを企画して多面的に展覧会の内容を深めます。また本陣記念館の協賛事業として「アートフェスティバル」や「市内在住作家展」の企画を行います。

①出雲文化伝承館

展覧会名称（仮称）	会期	内容
一オールドノリタケと近代窯業の礎— ノリタケ110年のあゆみ	4月1日（金）～ 5月15日（日） 《公開45日》 (27年度からの継続事業)	明治初年にニューヨークで日本の陶磁器を販売し成功をおさめ、またわが国初めてのディナーセットを製造したノリタケの華麗な輸出陶磁器の世界を紹介します。（協力 ノリタケカンパニーリミテド）
日展会員賞受賞記念 北本雅己 洋画展	7月30日（土）～ 9月19日（日） 《公開45日》	出雲市在住の北本雅己氏は平成27年の日展洋画部で県内初めてとなる会員賞を受賞された。「今後共大いに期待される」と評された、同氏の10年振りの近作展。
茶の器 向付と鉢 出雲の漆芸	10月15日（土）～ 11月27日（日） 《公開38日》	茶の湯の向付と鉢は、日本をはじめ中国、朝鮮の焼物で彩られ亭主の趣向が反映されます。本展ではあわせて、出雲の漆芸の優品を展示して、茶の湯と郷土の美術工芸のすばらしさを紹介します。
出雲の新人作家展 亀谷彩 漆芸展	11月15日（火）～ 11月27日（日） 《公開12日》 縁結び交流館	国内外の個展、展覧会等で活躍している出雲市出身、亀谷彩氏のモダンな漆芸の世界を紹介します。また閉展後の会場において本展のテーマである澁澤龍彦著『高丘親王航海記』による創作劇を行います。
新春展 出雲偉人伝	1月7日（土）～ 2月19日（日） 《公開39日》	新春にあたり、愛好家所蔵の郷土ゆかりの偉人（学者、事業家、政治家、宗教者、芸術家など）の墨蹟や書を展示して、その業績を紹介します。
企画展 春の美術工芸展	3月25日（土）～ 3月31日（金） (5月中旬まで) 《公開6日》	出雲地方を中心に、江戸時代から昭和まで活躍した作家の日本画、陶芸、漆芸等の優品を展示し、郷土の芸術文化の一端に触れていただきます。 会期中に恒例、早春の茶会を開催予定。

②平田本陣記念館

展覧会名称（仮称）	会期	内容
生誕 120 年宮澤賢治の世界 小林敏也画本展	4 月 2 日（土）～ 5 月 15 日（日） 《38 日間》	小林敏也氏は宮澤賢治の世界を版画で表現し、画本（えほん）として発表することをライフワークとしている。大人から子どもも楽しめる氏の独創的な作品を紹介します。
伊藤若美絵画展	5 月 28 日（土）～ 6 月 19 日（日） 《公開 20 日》	平田で長年眼科医を開業している伊藤若美氏の油彩画を展示。
ダヤン、出雲へ！ 池田あきこ原画展 ータシルの街と フォーンの森ー	7 月 2 日（土）～ 10 月 16 日（日） 《公開 92 日》	「猫のダヤンと仲間たち」の愉快で不思議な世界をイラストや絵本、アニメーションなどで描き続けている池田あきこ氏の作品とその世界を紹介します。
平田高校創立 100 周年記念 園山幹生絵画展	10 月 29 日（土）～ 1 月 22 日（日） 《公開 72 日》	出雲市出身で、さいたま市で活動をつづける園山幹生氏は、金沢美術工芸大学を卒業し、国内はもとより海外でも個展を中心に発表を続けています。平田高校創立 100 周年を記念して、卒業生である氏の作品を紹介します。
館蔵品展	3 月 4 日（土）～ 3 月 26 日（日） 《公開 20 日》	館蔵品から書画を中心に紹介します。

(2)郷土資料調査活用事業

文化伝承館、本陣記念館へ寄贈、寄託を受けた歴史史料や文芸資料を中心に調査、整理等を行い今後の展覧会に活かします。本年度は木佐家の史料を中心に調査します。

（5 年計画の 2 年次）

(3)出雲和文化交流会事業

市内の伝統文化関係団体の協力を得、出雲和文化交流会との共催で 11 月に第 14 回目の「出雲和文化まつり」を文化伝承館で開催します。（茶会、いけ花展示、特産品販売等）

(4)呈茶事業

お茶の文化が古くから伝わる出雲において、茶道文化の伝承と普及を図るため、出雲文化伝承館の茶室「松籟亭」、平田本陣記念館「庭園鑑賞ホール」で、お抹茶を

味わっていただきます。(伝承館呈茶は12月～2月休業)あわせて、茶道各流派の茶会及び学校児童等による茶道催し等にあたり連携支援します。

(5)文化財保存公開事業

出雲文化伝承館では、出雲市指定文化財である出雲屋敷等の施設の公開と利活用を図り、出雲流庭園や独楽庵と一体となった落ち着いた景観の維持管理に努め、くつろぎの中で伝統建築を理解していただきます。また、平田本陣記念館では県内では稀に残る御成り座敷と庭園を中心に保存公開し、特色ある出雲文化の伝統を紹介します。さらに本陣記念館では、引き続き来館の市内小学校児童へ民具の解説を行います。あわせて市民所蔵の美術品等の保存活用等について、専門的な支援を行います。

3.貸館事業

出雲市民会館をはじめ財団が管理する6つの施設は、より多くの市民に親しまれる地域文化振興の拠点として、財団自主事業や各種文化団体により上質な演劇や演奏を鑑賞する機会、また、広く市民を対象とした講演会や発表会の場を提供し芸術文化の振興を図ります。

施設の貸し出しにあたっては、当該館の施設のみならず他館の特徴もよく掌握し、利用者のご要望にお応えするとともに適切かつ効率的な貸し出しに努めます。

また、施設建設後の年数が経過していることから、建物、設備、備品ともに維持管理が特に重要となってきています。保守・点検と大事に至る前の小修繕を適時適切に行ってまいります。

(1)出雲市民会館

出雲市内のメインホールとして、1,210席の大ホール、大小多くの会議室、展示室、多目的室など地域の文化センターとして多くの観客が入場でき、催し物・会議・展示会など利用者のご要望にお応えし、有効にご利用いただけるよう努めてまいります。

(2)ビッグハート出雲

JR出雲市駅南側という利便性の良さと市民参加型の催しに適した、白のホール、黒・茶のスタジオ、アートギャラリーなど、多彩な施設を活かし、芸術文化活動だけでなく学会、研究会にも引き続きご利用いただけるよう、ホームページや会館内に設置してあるディスプレイ等PRに努めてまいります。

(自主事業)

自主事業では、小規模ホールの特性を生かし、市民参加型の芸術文化の発表の場

としてまた、人々の交流・文化の発信拠点として、幼児から高齢者まで「演者、観客が一体となった催し」が楽しめるような自主事業を実施します。

(3) 平田文化館

プラタナスホール（大ホール）は、電動移動観覧席により406席から813席まで自由な座席設定が可能で、講演会やコンサートにご利用いただけます。また、座席を収納すれば173坪のフラットなスペースとなり、展示会やパーティー、軽運動など多様な催しに幅広くご利用いただいております。そのほか小ホール、会議室、和室、応接室を備えており、地域の文化活動の拠点として施設の特徴を生かし有効にご利用いただけるよう努めてまいります。

(4) 大社文化プレイスうらら館

600席のだんだんホール及び200人の収容を可能とするごえんホールを有する市内の中規模文化施設として、利用者には有効的に、かつ親しみをもって使っていただけるよう、利用する側の立場に立った業務を行ってまいります。また、大社図書館との複合施設である特徴を活かし、地域の文化拠点として愛されるよう、地域の文化団体等との連携を大切にしながら貸館業務を推進してまいります。各所に経年劣化による対応が必要な部分が見受けられるようになってきましたが、利用者の安全を第一に考慮した対応を心がけてまいります。

また、利用料の改定が平成27年10月から施行されましたが、引き続き利用者の皆様には丁寧な説明で、理解していただくよう努めます。

(5) 出雲文化伝承館

出雲屋敷、企画展示室、茶室「松籟亭」、出雲文化工房、縁結び交流館の貸出について、利用者の皆様のご要望にお応えしつつも、出雲文化を伝承・継承を図る目的に沿い適切に対応することとし、多様で特色ある施設を有効にご利用いただけるよう努めてまいります。

(自主事業)

伝統文化の普及、継承を目的に子ども教室、大人対象の教室、文化講演会等を開催します。平成26年度からの継続事業として「出雲伝統の祝膳」講座を行います。

① 第3回「出雲伝統の本膳」講座事業

昨年度は人生の始まりとして「誕生」に焦点をあて、生命誕生の慶びや健やかな成長を願った祝膳を体験していただき好評でした。28年度は、本講座最後として「冠婚葬祭」の内「祭」すなわち法事に焦点をあて、郷土の食文化とその饗応様式を体験していただきます。

【事業内容】 講話 「出雲の本膳—祖先を祭る—」

食体験 2回

調理講師 島根県庖友会等

②教室・講座

ア. こども教室

夏休みなどを中心に、絵画、陶芸など様々な美術、工芸、和文化などを体験する教室を開催し、出雲市の将来を担う子どもたちの感性を育て郷土愛を深めます。

(和菓子作り・お抹茶体験教室、茶道教室、学校茶道合同茶会、やきもの教室、水彩画教室、いけばな教室、民話・昔話を楽しもう、注連縄作りなど)

イ. 文化講座 (一般対象)

絵画、陶芸教室などの芸術文化、伝統文化を体験する講座を開催し、その理解普及を図ります。

(絵画教室、香道教室、やきもの教室、掛軸教室、坐禅・写経教室、和歌等の文化講座など)

(6) 平田本陣記念館

本陣記念館として本館、展示館、茶室等の公開と貸出しについて、利用者のご要望にお応えし、有効にご利用いただけるよう努めてまいります。

(自主事業)

施設を活かし伝統文化の普及、継承を目的に子ども教室、大人対象の坐禅、写経教室などを行います。

①教室・講座

ア. 子ども教室

夏休み、冬休みなどを中心に陶芸、注連縄作りなどを体験する教室を開催します、郷土の将来を担う子どもたちの感性を育て郷土愛を深めます。

イ. 文化講座 (一般対象)

新たに地元講師による坐禅、写経教室などを開催し、伝統文化等の普及をはかります。

(7) 管理施設の概要

管理施設名	主な施設	利用案内
出雲市民会館 (塩冶有原町 2 丁目 15)	大ホール(1,210 席)	コンサート、演劇他各種公演、伝統芸能、式典、講演会、小・中・高校生の音楽練習ほか
	展示室(243 m ²)	各種作品等の展示

Tel 24-1212	多目的室(82 m ²)	音楽団体等の練習会場、会議用、展示用
	会議室(5室)	セミナーや講座、企業や団体の会議・研修用
ビッグハート出雲 (駅南町1丁目5) Tel 20-2888	白のホール(341席)	学会、講演会、研修会、コンサート、教室・
	白のホール控室(54.34 m ²)	学校の発表会、音楽練習ほか
	茶のスタジオ(122.47 m ²)	講演会、会議、研修会、音楽練習ほか
	黒のスタジオ(139.48 m ²)	舞踊・ダンス・音楽の練習、会議、研修会ほか
	アートギャラリー(263.78 m ²)	作品展示ほか
	会議室(60.67 m ²)	会議、面接、研修会ほか
	練習室(25.21 m ²)	個人練習、バンドの練習、レッスン、ワークショップほか
	レセプション(91.2 m ²)	会議、研修会、レセプションほか
平田文化館 (平田町2112-1) Tel 63-5030	プラタナスホール(406席 ～813席) 平土間(173坪・座席収納時)	講演会、研修会、コンサート、映画上映会、 作品展、展示会場、パーティー会場、軽運動場
	小ホール(110席)	講演会、会議、研修会、講習会、控室(楽屋)、 絵画作品展
	会議室(2室)	会議、研修会、講習会、控室(楽屋)
	和室(2室)	会議、研修会、控室(楽屋)等
	応接室	小会議、控室(楽屋)等
うらら館 (大社町杵築南 1338-9) Tel 53-6500	だんだんホール(600席)	講演会、会議、音楽会・発表会、映画、演 劇ショー、歌謡曲、クラシック、伝統芸能、練習、 その他
	ごえんホール(200席)	講演会会議等、音楽会・発表会、歌謡曲、 クラシック、作品展示、伝統芸能、練習、コンク ール、その他
	会議室(3室)	会議、研修会、レセプションほか

出雲文化伝承館 (浜町 520) TEL 21-2460	出雲屋敷 (356.6 m ²)	見学、茶会、結婚披露宴ほか
	茶室「松籟亭」(150.82 m ²)	呈茶、茶会、香会
	文化工房 (438 m ²)	展示、作品展、陶芸教室、書道教室ほか
	企画展示室 (展示棟 580.8 m ²)	企画展、特別展等
	縁結び交流館 (503 m ²)	音楽練習、コンサート、講演会、会議、ダンス、軽スポーツほか
平田本陣記念館 (平田町 515) TEL 62-5090	本館	花生け展、茶会、地域イベントほか
	展示館	美術品等展示
	茶室	茶事ほか

II 収益事業

次の(1)から(6)までの施設の貸し出しにおいては、営利を目的とするホールの施設や物販等の利用のための貸出を収益事業とし、利用者のご要望にお応えし、有効にご利用いただけるよう努めてまいります。

1. 貸館事業

(1) 出雲市民会館

ホール、楽屋、控室、展示室、多目的室、会議室

(2) ビッグハート出雲

ホール、スタジオ、会議室、スタッフ控室、アートギャラリー、文化サロン、レセプションスペース

(3) 平田文化館

ホール、楽屋、会議室、和室

(4) うらら館

ホール、楽屋、テラス、ラウンジ、学習室、会議室

(5) 出雲文化伝承館

展示、茶室、指定文化財庭園等、多目的ホール

(6) 平田本陣記念館

本館、展示室、茶室

2. チケット販売等物販事業

(1) 各プロモーターが行うイベント等に係るチケットの販売等を行います。

(2)企画展などにおいて、受託販売物や図録等の販売を行います。

(3)第三者が行う自動販売機の設置を認め、販売手数料を得る事業を行います。

3. 大社図書館管理運営事業

大社文化プレイスうらら館との複合施設である大社図書館の清掃、空調整備、修繕、消防点検及び警備等の管理運営を適正かつ効率的に行います。